

# 正しく伝わる色づかいを カラーユニバーサルデザイン

色は重要な情報伝達手段の一つですが、色による表示の多くは、一般色覚者の見え方を中心に設計されています。

しかしながら、日本人では男性で20人に1人、女性で500人に1人、全体では300万人以上の方に、色の見え方に特性があるとされており、こうした方たちは、生肉と焼いた肉が同じに見え、焼き加減が分からなかったり、色で区別されている配線コードの接続に苦労したり、学校では、黒板のチョークをはじめ、授業で使用する物の色の違いが分からなかったりと、不便を感じながら日常生活を送っています。

こうしたことから、色の見え方の多様性に配慮し、全ての人に色の情報がきちんと伝わるものづくりの考え方であるカラーユニバーサルデザインをもとにしたまちづくりが重要になっていきます。

**問** 本市のカラーユニバーサルデザインの導入について聞かれます。

**答** 本市では、公文書やパンフレットなどの刊行物、施設の案内板の作成に当たり、誰にでも分かりやすく、読み手に負担をかけないものとしていくため、平成26年8月から、川崎市が策定した「公文書におけるカラーユニバーサルデザインガイドライン」を参考に、全庁的な対応

を進めています。

今後、市民への情報発信や防災ハザードマップの作成、教育現場での取り組みなどの分野でカラーユニバーサルデザインの導入に努め、全ての人にやさしいまちづくりを進めていく。

**問** 建設中の新庁舎において、色への配慮がどのようになされるのか聞かれます。

**答** 新庁舎の基本理念の一つとして、市民に分かりやすく、利用しやすい庁舎を掲げており、高齢者、障害者、子ども連れの方を含めた全ての方が利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した庁舎を目指している。

新庁舎の電光掲示板やエレベーターの押しボタンのランプ、誘導サインなどについても、カラーユニバーサルデザインに十分配慮し、満足度の高い庁舎と

していく。

**問** 教育現場でのカラーユニバーサルデザインの取り組みについて聞かれます。

**答** 文部科学省令の改正により、平成15年度から、児童生徒の健康診断で、それまで必須項目であった色覚検査が希望者のみの実施に変更されたことから、色の見え方に特性のある児童生徒を学校で完全には把握できない状況となっている。

そのため、教職員は、各学級に色の見え方に配慮が必要な児童生徒が必ず在籍するとの考え方に基き、学校で使用するチャートについては、見えやすい白と黄色を基本とし、赤・緑・青・茶色といった見えにくい色は大きくはつきり書いた上で、白や黄色でアンダーラインや囲み枠をつける、また、文字や記号で色以外の情報も加えるなど、カラーユニバーサルデザインの視点で学級運営を進めていく必要がある。

こうした色の見え方に特性がある児童生徒への具体的な対応例については、色覚に関する国の指導資料に示されており、これらの児童生徒がその特性により気おくれななどすることがないよう、その内容について各種の研修の場などを活用し、管理職や教職員に継続的に浸透を図っていく。また、本年度は、カラーユニバーサルデザインの考え

方を教育現場により浸透させる

## 新しい時代の扉を開く

7月4日は、72年前に多くの尊い命が奪われた高知大空襲の日です。ことしも高知市平和記念式に参列し、炎の中を逃げ惑い、犠牲となった方々の名簿が納められた平和祈念の碑に平和を誓いました。

ことし7月7日、124カ国が参加した国連会議で、核兵器禁止条約が採択されました。地球上のあらゆる命の営みを絶つ悪魔の兵器を史上初めて違法化し、全面廃絶へと一歩を踏み出す、新しい時代の扉がようやく開いたのです。



望させました。

昨年4月には、平均年齢80歳を超えた被爆者達が、世界に「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」

けれどもそこに、原爆投下による被害や、ピキニ環礁での核実験による被ばくの実相を身を持って知る国の政府の姿はなく、核なき世界を希求する人々を失

を呼びかけ、この国連会議中に集まった約300万筆の署名が国会議長長に手渡され、受け取られました。

本市も加盟する平和首長会議も賛同・協力を表明。岡崎市長も全国の首長と共に署名し、「美しい地球から核兵器をなくしましょう」とのメッセージを寄せています。

「安らかに眠ってください。過ちは繰り返させぬから」との被ばく者と被ばく国の願いを高知からも世界へと届けたいですね。(議会広報委員 浜口佳寿子)

## 陳情 6月定例会で結果の出た

【不採択】  
○日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約の実現に真剣に努力するよう求める意見書提出の件

## ホームページ上の掲載内容の追加について(お知らせ)

現在、本市議会の委員会記録については、ホームページ上の会議録検索システムに定期的に反映していますが、少しでも早く閲覧できるように、完成した委員会記録から順次、PDFファイル形式で公開しています。また、毎年各委員会で行政視察を行っていますが、その視察報告書についても、ホームページ上で公開しています。

ため、専門的な見地からの研修も実施していく。

学校で使用する教材等については、カラーユニバーサルデザインに対応したものが少ないため、今後もそうした製品の情報収集に努めるとともに、教職員にも情報を提供していき、各学校での物品購入の際には、カラーユニバーサルデザインに対応したものを対象に加えて選定するよう、周知を図っていく。